

<b>宝塚市協働のまちづくり促進委員会</b>	
<b>協働のマニュアル策定部会(第7回・第2期第1回) 会議録</b>	
開催日時	平成27年12月10日(木) 18:30~20:00
開催場所	宝塚市市役所 特別会議室
次 第	1 開会 2 議事 (1) マニュアルの構成等について (2) マニュアル本編の内容等について (3) 協働のマニュアル策定作業部会について 3 その他 4 閉会
出席委員	久委員長、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、久米委員、古村委員、高松委員、中山委員、檜垣委員
開催形態	公開(傍聴人1)

## 1 開会

第7回協働のマニュアル策定部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は9人、欠席者2人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること及び傍聴希望者が1人いることを報告した。

## 2 議事

### (1) マニュアルの構成等について

事務局が宝塚市協働のまちづくり促進委員会第1期まとめに基づいて、マニュアルの構成等について、これまでの審議経過を説明し、その後以下のとおり委員間で審議がなされた。

ア 【部会長意見】主な項目は、マニュアルの構成、アウトプットイメージ、職員マニュアルの作成の3点である。順番に審議していきたいと思うが、まず、マニュアルを本編、事例集、提言の3部構成とすることで審議されてきたが、そのことについて意見や質問はあるか。(意見等はなし。)

特にないようなので、引き続き3部構成とすることでマニュアルづくりを進めていくこととする。

次に、マニュアルを冊子にするのか、リーフレットにするのか、アウトプットイメージを審議したい。

イ 3部構成が完成した時点で使いやすいものを検討する必要があると思うが、まずは本編だけなのでそこそのものでも構わないと思う。

ウ 【事務局】今後、研修会などで使用することを考えると、そのたびにコピー機で増刷するより、協働の指針のように印刷製本するほうが見やすく、使いやすいものになると思う。印刷コストのこともあるが、頻繁に内容を改訂しないのであれば市

民や職員への周知のことを考えると、協働の指針のように印刷製本したほうが配布しやすいので、そのあたりも検討いただきたい。

エ 【部会長意見】参考までに他市の事例であるが、第1期で他市のマニュアルを参考資料として配布したが、そのうち河内長野市のものは、ボリュームは大きいですが、未だにコピー機で印刷して冊子を作っている。

オ どこで、どのように、誰に、このマニュアルを配布するのか確認したい。

カ 【事務局】協働の指針は、要望があったまちづくり協議会や自治会に配布し、また、ほとんどの市職員に一人一冊配布している。マニュアルの今後の周知方法も含めて審議いただきたい。

キ 協働の指針はどのぐらい印刷して、どのぐらい配布しているのか。

ク 【事務局】6,000部印刷し、現時点で3,500部ほど配布している。

ケ 【部会長意見】現時点では協働の指針よりマニュアルのほうが冊子にしても薄いものになる。簡易な印刷で済ませるか、研修会などで活用するために印刷製本するか、どちらがよいと考えるか。

コ このマニュアル、本編の部分が3月末に完成すれば、新年度に職員向けのマニュアルを作成することも審議されているが、協働の指針と今のマニュアルと職員マニュアルと3冊になるのか。

サ 【事務局】職員向けのマニュアルができれば、市職員は主に職員向けマニュアルを活用することになると思う。今のマニュアルは一般向けということになるのではないか。

シ 3点目の職員マニュアルの作成については、もう少し議論を深める必要があると考えている。このマニュアルを作成する際に職員向けと市民向けを分けて作成するのは問題があるという考えがあった。市民も職員もお互いがどのように動くのか共通認識を持っておいたほうが良く、市民と職員のマニュアルを分けてしまうと、お互いに自分の部分しか読まなくなってしまう。そこに配慮して、このマニュアルは、市民と職員が共通して気を付けるべきこと、特に市民が気を付けるべきこと、特に職員が気を付けるべきことの3つに分類して作成している。

マニュアルはシンプルなものを作成しておき、職員向けのものは各課において個別に考えてもらってもよいのではないか。

ス 【部会長意見】各市の取組をみていると、市民向けと職員向けとでは、同じ内容であったとしても、切り口や語り口調を変えているし、取り上げる事例もより身近な分かりやすいものを選ぶなど、工夫されている。それぞれの受け入れやすさを考えると、職員向けと市民向けを分けることも利点がある。

とりあえず今回のマニュアルをまとめあげて、新年度に職員も交えて職員向けのマニュアルを分けて作成するのか、市民向けのマニュアルと一緒に一冊にまとめるのか議論を深めてもよいのではないか。

セ 【事務局】同じ内容でも切り口と語り口調を変えた方が職員の理解が進むと思いを提案した。

ソ とりあえず今のマニュアルを完成させて、新年度に別に職員向けを作成するのか、作成した際には今のマニュアルから職員の部分を削るのか、削らないのかも含め、職員を交えて議論を深めていけばよいと思う。ただ、あまり細かいことまで書けば書くほど、マニュアル通りに仕事をこなすためのマニュアルになってしまい、協働を意識して、工夫して仕事をするができなくなってしまうか危惧する。

タ 【事務局】市民側と職員側と併せて記載されているこのマニュアルは、お互いの動き方を理解するために非常に使いやすいマニュアルになっていると思う。ただ、他市の職員向けマニュアルを見ていると、事例が豊富に掲載されており、職員にとって非常に分かりやすいものになっていると感じた。そのあたりも含め、新年度に議論を深めていただきたい。

チ 【部会長意見】今回は本編しか作成していないが、事例集を作成することによって職員の理解が進むかもしれない。職員向けの事例集を別に作成する必要がないかもしれない。職員向けマニュアルが事例集で足りることもあり得るのではないか。

ツ マニュアルを手にして市民の社会参加が進めばよいと思う。これからは協働で進めるほかに、そのためにマニュアルの作成に携わってきた。協働で進めるのだから行政だけが活用するマニュアルを作るのは良くないと思う。行政向けの事例集をつくれれば前例を踏襲するようになり、新しい取組が生まれなくなってしまう。

テ マニュアルを読み込んでみたが、かみ砕いた説明で、事業の進め方がよく分かった。協働の指針とマニュアルをセットで見るのが基本になるのだと理解した。今回の本編が初級編で、事例集は中級編に当たる位置付けになるのかもしれない。今後、上級編に当たるようなものも検討することになるだろうが、まずは初級編として簡素な内容でまとまっているので、リーフレット形式で作成すれば汎用性が高いように思う。

ト 【部会長意見】アウトプットイメージは本日決定しなくてもよいので、作業を進める中での意見も踏まえて今後議論すればよいと思う。

ナ 事例から入った方が分かりやすいこともあるので、事例集からマニュアルとなるものを抽出していく方法もあると思う。

ニ 【部会長意見】事例も様々であり、一つの事業として大きな事例を取り上げるのか、会議の進め方のコツといった小さな事例を取り上げるのか、事例といっても各人で認識が違ふと思う。職員はどちらかといえば後者の事例を望んでいるのではないかと思う。事例集の検討はどのようなものを取り上げるのかも含め、今後時間をかけて議論していきたい。

ヌ 明石市の職員向けのマニュアルは、机の並べ方や職員がどこに座ればよいのかまで、事細かく書いてある。職員が望むものを職員と一緒に作っていく必要があるのだと思う。

今回のマニュアルは順序立ててよく整理されており、職員の意見にもあったようにフローチャートの形式にすれば分かりやすいのだと思う。横浜市も同じような内容でまとめられている。

ネ 【部会長意見】協働のすごろくのような形にまとめられている。

ノ 前回の全体会で、まずはこのマニュアルを完成させることに決定されているので、事例集をどうするのかなど積み残しの議論は、このマニュアルを完成させてから議論すればよい。

ハ 【部会長意見】内容をさらに充実させ、バージョン2や3を作成してもよいので、今年度中にマニュアルを完成させたいと思う。また、ワークショップの提言についてもマニュアル完成後に再度議論してもよいと思う。

(2) マニュアル本編の内容等について

マニュアル本編の内容及び今後の編集作業について委員間で以下のとおり審議がなされた。

ア 【部会長意見】今回のアウトプットとしては、この13ページのマニュアルの内容でよいかどうかだが、今年度内にマニュアルを完成させるのであれば、これ以上手を加えるのは難しいとの意見もあった。

イ マニュアルに加える事例の候補はあるのか。

ウ 【事務局】前期の委員会の当初に事例をまとめていただいたものがあるが、今回のマニュアルに掲載するのに適当なものがあるかどうかは検討が必要だと思う。現時点で具体的に提示できるものはない。

エ マニュアルと照らし合わせる形で事例があった方が分かりやすいと思う。

オ 【部会長意見】事例はあるが、今回のマニュアルと照らし合わせる作業が必要であり、また、解説も加える必要がある。簡単に済む作業ではないと思う。

今年度はこの内容で留め、13ページの内容を詰めていくことで進めたい。

カ 今年度でこのマニュアルが完成すれば、新年度の職員研修や市民説明会で協働の指針とともに活用し、また、引き続き事例集を追加するなどバージョンアップも図っていくということによりよいと思う。

キ 【部会長意見】内容について、他に意見はないか。

ク 導入部分は、もう少し具体的な例を示して表現を変えた方が分かりやすいと思う。また、文字が多くて指針とマニュアルの2冊を読むのに抵抗感が生まれませんか。

ケ 【部会長意見】レイアウトやフォントなどによっても読みやすさが変わってくると思う。編集作業を進める中で解消される部分もある。

先に作業部会のことを議論したほうが話を進めやすいと思う。前期ではもう少し小さな作業部会を設置して、事務局とともにこの部会で議論した内容を具体的な案に落とし込む作業を担当していた。部会の下に作業部会を設置していたのだが、名前を変えた方が紛らわしくなくてよいと思う。

(3) 協働のマニュアル策定作業部会について

事務局が作業部会の設置について提案したところ、前期に引き続き飯室委員、熊澤委員、檜垣委員が参加し、新たに石谷委員、中山委員が参加することとなった。また、作業部会の進行等について、委員間で以下のとおり審議がなされた。

ア ある程度マニュアルの内容が固まっているので、事務局で編集作業を行ってもら

い、作業部会で委員が意見を出す方法を採用してはどうか。

イ 【事務局】事務局で編集作業を進めても堅い文章になってしまうと思う。

ウ 【部会長意見】デザインでかなり印象が変わってくるので、誰かがその部分を担当した方がよいと思う。前期の報告でも協働の仕組みづくり検討部会のものはよく作り込まれて分かりやすかった。

※ 中山委員から担当する旨の申出があった。

デザインは中山委員に任せたいと思う。他に編集について意見はないか。

エ 横浜市のような全体の流れが分かる図があれば、理解しやすいと思う。

※ 熊澤委員から原案を作成する旨の申出があった。

オ 要約版を作成することになるので、時間を要するのではないか。

カ 目次を並べる程度にすれば、時間もかからないと思う。導入部分でおもしろみがあれば、抵抗感が少なくなる。

キ 項目だけを並べてすごろくを作るぐらいの感じでよいのかもしれない。

ク そのあたりは、作業部会で話を詰めた方がよいと思う。

ケ 横浜市の内容と同じようなものになっても問題はないのか。

コ すごろく方式はこれまでいろいろなところで活用されているものなので、似たようなものになっても問題はないと思う。

### 3 その他

(1) 事務局から委員報酬の支払事務等について事務連絡を行った。

(2) 中山委員からマニュアルに関する資料（題名：お子様ランチ）が提供された。

### 4 閉会